

どこで何が起きているんだ——東北全域が停電でテレビが映らない。人々は情報から遮断され、かつてないほどの不安に陥った。

被災地の岩手、宮城、福島テレビ民放局は、自らも被災しつつ、何を伝えたのか。そして3カ月を経て、何が見えてきたのか。被災3県のテレビ民放12局すべてを6月20日から7月5日までに訪問し、社長と報道部門トップにインタビューした。1局あたりの取材は4時間近くにもなったが、多忙にも係わらず時間を割いていただき厚謝。(レポート・写真：吉井 勇・本誌編集長)

岩手・宮城・福島 テレビ民放全12局取材 被災3県

報道していることが 住民の避難と安心に直結した

複雑に入り込んだ湾が織り成す三陸海岸は、津波で海岸線を並行する陸路は崩れ、鉄路は壊滅的な状況となった。激しい被害を受けた海岸線は、実に400km以上に及ぶ。

震災直後の初動対応はどうだったのか。12局は混乱しつつも適切な行動が取れたと振り返る。それは東北を繰り返し襲った大地震や津波の経験が初動対応で生きたからだ。1978年6月の宮城県沖地震(M7.4)があり、2003年5月の三陸南地震(M7.1)、2008年6月の岩手・宮城内陸地震(M7.2)と続き、昨年2010年2月のチリ地震津波では大津波警報が発令し、2日前の3月9日にはM7.3の三陸沖地震で津波注意報を経験している。

まず、社長のコメントからレポートする。なお、テレビ岩手の榎崎憲二社長は6月就任で震災の直接経験をしていないことから、インタビューはしていない。報道トップのコメント、報道や番組編成、報道システムなどのレポートは66頁から掲載した。

県名	局名	系列
岩手県	IBC岩手放送(IBC)	JNN
	テレビ岩手(TVI)	NNN
	岩手めんこいテレビ(MIT)	FNN
	岩手朝日テレビ(IAT)	ANN
宮城県	東北放送(TBC)	JNN
	仙台放送(OX)	FNN
	宮城テレビ放送(MMT)	NNN
	東日本放送(KHB)	ANN
福島県	福島テレビ(FTV) *福島市	FNN
	福島中央テレビ(FCT) *郡山市	NNN
	福島放送(KFB) *郡山市	ANN
	テレビユー福島(TUF) *福島市	JNN



宮古を襲う津波の瞬間
写真提供：岩手朝日テレビ